

こんにちは、小川あきらです。

きらきら通信

夏号
2012.7月

群馬県水源地域保全条例が
制定されました！

常任委員会
今年度は文教警察常任委員会に配属！

4つの特別委員会
(国際戦略対策・行財政改革・森林環境税・放射能対策)

一年生議員・東毛研修

アキラ、街に歩く。

過去、現在、そして未来…★



2012 夏。

みなさん、金環日食をご覧になりましたか?? 素晴らしい天体ショーでしたね!
各地で開催された「のびゆく子どものつどい」や「2012ぐんまふれあいフェスティバル」では、子供たちの元気な姿を見ることができました。また、わんぱく相撲前

議会報告

5月定例議会が、5月25日～6月15日の会期で開催されました。
5月議会では、群馬県水源地域保全条例の制定や、特別支援学校（富岡分校）の設置等を盛り込んだ10億6000万円あまりの一般会計補正予算などを可決しました。

群馬県水源地域保全条例が制定されました!

近年、北海道などにおける外国資本による森林買収が話題になっていますが、群馬県でも昨年、霧恋村の民有林44ヘクタールが外国資本に売買されるということがありました。この条例では、売買の30日前までに、買主の氏名・住所・土地利用の目的などを届け出ることが新たに義務づけられます。県内には、森林が43万ヘクタールありますが、そのうち半分を占める民有林22万ヘクタールのほぼ全てが、「水源保全地域」として指定される見込みです。



常任委員会

今年度は文教警察常任委員会の配属となりました。

みやま養護学校富岡分校整備に1億8800万円の補正予算

群馬県では、H24度から3か年計画で、特別支援学校の未設置地域に設置推進をしていく予定です。H25年には富岡、H26年には藤岡、H27年には吾妻地域への開校をめざし、地元地域の方々との話し合いを重ねています。今まで、富岡・藤岡地域の方は、高崎の特別支援学校まで通っていましたが、分校の設置により、通学の負担が減り、児童にとってより良い学習環境が提供できます。

小中学校紹介テレビ番組が始まりました

今年度9300万円の予算をつけた新規事業です。県内各地の小中学校で実施しているユニークな活動や、地域と学校とのかかわりなどを紹介します。たくさんの子供たちの笑顔が見られますので、ぜひご覧ください。

- 6月から、群馬テレビにて「～地域が支える小中学校～みんなの時間」が始まりました。(毎週火曜日、午後7時～7時30分)





橋場所では、土俵に臨む子どもたちの真剣な表情や笑顔、そして、涙に、たくさんの元気をもらいました。未来を担う子どもたちが健やかに成長していける地域社会を、みんなで助け合い協力しあって創っていきたいです。

■ ストーカー相談、前年比3割増

昨年度の県内のストーカー相談件数は685件で、全国で6番目に多い件数でした。今年度は、5月末時点で342件と、前年同期を3割上回る過去最多のペースで推移しています。群馬県警では、今年度より「子ども・女性安全対策室」を新設し、何かあった場合に捜査員を大量投入する体制を整えています。

特別委員会

国際戦略対策・行財政改革・森林環境税・放射能対策の4つの特別委員会

今年度は、放射能対策特別委員会の所属となりました。子供たちの内部被ばくの健康調査の実施について、除染土壌(特に小学校など子どものまわりにある土壌)の処分について、食品検査について(各地域への測定器の配備と市民が持ち込んだ食品を検査できる体制整備)、質問と要望をしました。

関越バス事故に関する臨時委員会

関越自動車道で4月29日に起きたバス事故に関して、臨時委員会が開催されました。議会基本条例が施行された直後の今回の臨時議会の開催。議会としてスピーディにかつ柔軟に対応していくことが大切です。ガードレールと防音壁との間に隙間があったことが事故の原因の一つと考えられていますが、今回の事故を受けて、県の管理する県道等も緊急点検をすることになりました。ガードレール等の破損箇所が見つかった場所は随時修復にあたっています(通学路での事故も相次いでいるので、通学路の安全点検も合わせて行っていく予定です。)また、今回の事故の原因は、ガードレール・防音壁の在り方とともに、バスの運行管理に大きな問題があったと思います。行き過ぎた規制緩和による労働環境の悪化など、現代の雇用の問題についても議論し、見直していく必要があります。その他DMATの出動が遅れたことの検証・改善や、被害者の支援窓口の対応について、さらにより体制づくりを目指します。

森林環境税って何だ？

今年度は、森林環境税の導入に関する特別委員会が設置されました。森林環境税と書いて、「山林の所有者に課税されるの?」とよく質問されますが、そうではありません。森林環境税は、森林環境の保全と水環境を良好に保っていくための財源となるもので、すでに33県で導入されていますが、

県議会の豆知識



すべての県で個人及び法人県民税に上乗せをする形で課税しています。個人の負担額は年間300円～1200円と県によってまちまち。県民の皆さんに新たな負担を課すものなので、森林環境税を導入するかどうかを含めて、この1年間、その目的や財源の使途をしっかりと検討しなければなりません。



活動報告

主な地元活動・参加行事

(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- 4月 1日 東小学校区カーブミラー清掃、ガスバ車運開再祝
- 4月 4日 大利根マロニエお花見会
- 4月 8日 前橋公園トイレ清掃
- 4月 9日 倫理経営講演会
- 4月12日 東地区自治会連合会歓迎会
- 4月13日 リベラル群馬・議員団会議、前弁懇親会
- 4月15日 ハッ場ダム現地調査
- 4月17日 大規模震災対策特別委員会・県外調査、角田義平治映画上映
- 4月21日 ぐんま学園制作学習会
- 4月22日 角倉くによし政経セミナー
- 4月24日 リベラル群馬・議員団会議、一期生議員東毛研修
- 4月25日 西毛広域幹線道路富岡工区・開通式
- 4月26日 常任委員会・県内調査
- 4月27日 東中学校PTA 歓迎会
- 4月28日 前橋JCじゃがいもゴルフコンペ
- 4月29日 スペシャルオリンピックス(バザー)
- 5月 4日 ヨシナガ・アカデミー
- 5月 5日 固定思治講演会
- 5月 8日 臨時委員会(開通自動車運送バス事故について)
- 5月10日 リベラル群馬・議員団会議
- 5月12日 市川清江政治参画フォーラム
- 5月13日 憲法フォーラム
- 5月16日 特別委員会
- 5月17日 二瀬ダム・滝沢ダム現地調査
- 5月18日 部落解放同盟定期大会、箱田中学校PTA 歓迎会
- 5月19日 太田東高校「公開みらい学」
- 5月20日 東地区「のびゆく子供の郷」、2012ぐんまふれあいフェスティバル
- 5月21日 東地区3団体総会&懇親会 ★金曜日会
- 5月22日 通産式太陽光発電システム視察
- 5月25日 5月定例議会開会(6月15日まで)
- 5月26日 渋川JC45周年記念大会
- 5月27日 わんぱく相撲前橋場所
- 5月29日 リベラル群馬・会派勉強会(ゲートキーパーについて)
- 5月31日 本会議(一般質問)
- 6月 1日 本会議(一般質問)、院内セミナー
- 6月 3日 東地区ゴルフ大会
- 6月 5日 本会議(一般質問)
- 6月 6日 リベラル群馬・議員団会議
- 6月 7日 常任委員会
- 6月 8日 常任委員会、三森和也市議・市政報告会
- 6月 9日 中央大学学生会群馬支部総会
- 6月12日 特別委員会
- 6月14日 リベラル群馬・議員団会議
- 6月15日 本会議
- 6月16日 平和フォーラム、映画上映「第4の革命「エネルギーデモクラシー」
- 6月17日 まえぼし合同学園祭
- 6月19日 上電沿線市連絡協議会総会
- 6月20日 中部県民局意見交換会
- 6月22日 都市計画審議会
- 6月23日 エネルギーフォーラム、国民生活フォーラム
- 6月24日 東地区バレーボール大会

BLOG

ブログ
やっています!
ぜひ一度覗いて
みてください



一期生議員研修

投稿日: 2012年4月24日

今日は、県議会の一期生の議員研修で、東毛地域の調査に行ってきました。東毛のイメージというと、なんといっても群馬を支えるモノづくり! スバルの矢島工場とビジターセンターにお邪魔してきました。スバルがどういった企業かというと、太田市の面積の約0.7%をスバルの関連企業が占めており、太田市の人口の約6.1%がスバルの関連企業で働いているそうです。まさに地域になくてはならない、地域と一体となっている企業さんです。そして、群馬県の製造品出荷額の約13%がスバルの製品だということ。一企業として群馬に貢献している度合いが本場に大きな会社です。矢島工場の中では、プレス工程⇒ボディの溶接組立工程⇒内装部品の取付工程⇒検査工程と見学させていただきました。大きなプレス機で、自動車の部品があつという間に作り上げられています。プレスや溶接の工程は、ほとんど大型機械の操縦で行われ、内装部品の取付や検査の工程は、やはり人の手で丁寧に作業がなされていました。工場に併設されているビジターセンターでは、スバルの歴代の車や環境への取り組みなどを展示されています。最後に、ぶつからない車、アイサイトを体験させてもらいました。ユーザーに安心して自動車を利用してもらいたい、少しでも安全性を高めようとする取り組みは、とても素晴らしいものだと思います。

がん検診へ行こう!

投稿日: 2012年6月10日

昨日行われた市民講座『もっと知ろう! 乳がんのこと』に参加してきました。乳がんは女性特有のがんで、女性の部位別罹患率では第1位のがんです。(罹患率の高い部位から、乳房→結腸→胃→肺と続きます)群馬大学の乳がんの手術症例も、10年前は年間100例に満たなかったものが、2011年には、年間250例以上となっており、年々増加しているそうです。乳がんは、9割以上が乳管という管の中で発生し、がんが進展すると乳管を破って乳房や腋窩に広がっていきます。乳房にしこりが見つかるのは、がんがかなり進行したケースが多く、しこりが見つかった場合、目に見えない小さな細胞が、体のあちこちに転移している可能性があります。しかし、早期に見出し、適切な治療を施すことで、乳がんの死亡率をぐっと下げることができます。腫瘍を切除し、がん検診の大切さを改めて感じました。各市町村では、毎年がん検診を行っています。女性の方は、胃がん、肺がん、大腸がんに加え、乳がん検診、子宮がん検診を忘れずに受けてください! ちなみに、群馬県は、乳がん検診をする乳癌専門医の人口比率が全国第1位とのこと。安心して検診に行きましょう★

サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(リベラル群馬)。産経土木常任委員会、大規模震災対策特別委員会、都市計画審議会、前工団委員。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか?!

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町1-43-7 1F
 ● TEL.027-255-7700 ● FAX.027-255-7788
 ● URL: <http://akira-o.jp> ● Email: info@akira-o.jp



アキラ、街に歩く。



カーブミラーお掃除隊！

2012.4.1 平成24年度の始まりの日。JP労組前橋支部の皆さんが福祉型労働運動の一環として、東小学校区の通学路カーブミラー清掃を行うということでしたので、私も参加させていただきました。労働運動というと、なんとなく職場内での活動をイメージしてしまいがちですが、実際には、町おこしや福祉ボランティア、環境保全活動、国際貢献など、様々な活動をしています。今回のカーブミラー清掃は、日頃、郵便バイクを運転しながら、町中を駆け巡っているJP労組さんから、「東地区の通学路は、道が狭くて危ないな」「カーブミラーを綺麗にすれば、見通しがよくなるのでは?」と、ご提案頂いたものです。通学路の主な通り約60枚のカーブミラーを、スポンジモップで水拭きし、水切りワイパーで水切りを行い、さらには雑巾を使って鏡面を拭き上げるという手順で、作業を行いました。角田市議や東小学校のPTA会長・副会長にもご参加いただき、実際に通学路を歩きながら、せっせとお掃除。「きれいになったな〜」と参加したみんなを確認しながら、何ともいえないすがすがしい気分を味わうことができました。今後も地域に密着した活動を続けていきたいと思っています。



スペシャルオリンピックス(SO)を知っていますか??

2012.4.29 昭和の日。たかさきスプリングフェスティバルで、スペシャルオリンピックス群馬設立準備委員会の皆さんがバザーを出店するというので、お手伝いに行ってきました。私もたくさんの方にバザー品の寄付をお願いさせていただきましたが、ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



ございました。おかげさまで、売れ行きは絶好調でした!! 身体障害のハンデを持つ方のパラリンピックは、多くの方が知っていると思いますが、知的障害のハンデを持つ方をスポーツを通じて支援しているスペシャルオリンピックス(SO)は、まだまだ知名度が低く、ボランティアさんなどの支援も足りない状況です。群馬県でも毎月ボウリングやテニスなどのスポーツプログラムを開催しています。私のお友達の「さっこちゃん」も毎月ボウリングを楽しんでいます。みなさんもスペシャルオリンピックスに参加しませんか?? 多くの方にSOの活動を知っていただき、ハンデのある方も、そうでない方も、一緒にスポーツを楽しめる社会をつくっていききたいです!





過去、現在、そして未来…★

過去

6月22日は「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」。県庁で開催されているハンセン病パネル展に行ってきました。このパネル展は、ハンセン病に関する偏見や差別が存在したという事実を重く受け止め、県民の皆様にはハンセン病を正しく理解していただくために開催されたものです。以前、草津町にある国立ハンセン病療養所「栗生楽泉園」を訪れたときのことを思い出しながら、楽泉園の配食作業の様子やプロミン注射の様子、全国のハンセン病療養所の写真などを拝見させていただきました。楽泉園には、今も122人が暮らしています。入所者の高齢化により介護の必要性

も高まっている一方で、職員は年々減少しており、医師や看護師、介護職員の確保が今後の課題となっています。1907年に制定されたらい予防法(旧法)。1996年に「らい予防法」廃止に関する法律が成立するまでの約90年間、ハンセン病元患者さんたちは、強制隔離政策のため「療養所」での隔離生活を余儀なくされてきました。強制隔離によって奪われた人々の人権回復はこれからです。最後の一人まで、国が責任をもって向き合わなければならないし、園の地元住民への開放や重監房の保存など、地域とともに栗生楽泉園が存在し続けられる取り組みが必要です。

現在

かつて、電力自給率 100%をほこっていた群馬県。電源群馬の今の電力自給率はH22の統計で22%まで落ち込んでいます。時代が変わって、私たちの身の回りのものや暮らし方が変わっていくのに合わせて、エネルギーの使われ方も変わってきました。そして、昨年の震災で、計画停電やガソリン不足を経験し、当たり前のように消費していたエネルギーについて、もう一度考えなおす時がやってきたのだと思います。群馬県のエネルギーの大半は水力発電ですが、震災後は太陽光発電も注目され、前橋では9月にメガソーラーが稼働する予定。バイオ

マスや小水力発電など、新しい発電方法も各地で取り組まれています。私たちにできることは、まずは節電。エネルギーを大切に使うことを心がけましょう!

年度	発電量 (1000kWh)	使用料 (1000kWh)	自給率
昭和27年	2,132,221	576,721	370%
昭和44年	3,768,896	3,780,712	100%
平成22年	3,569,833	15,620,589	22%

未来

太田東高校で行われた「公開みらい学」の授業に、外部講師として参加させていただきました。公開みらい学は、キャリア教育の一環で、高校生に働くことの意味や 高校生活と働くこととの関連について考えてもらう総合学習の時間です。60名を超える外部講師の方々にご協力いただき、生徒たちにたくさんの職業について触れていただき、学生を終えた後の社会について少し感じ取っていただけたものと思います。高校生からの質問では、「高校時代の勉強が今の仕事に役に立っていますか」「社会に出てか

ら、一番大きな失敗はなんですか」「途中で進路を変更したいと思ったことはないですか」など、なかなか答えにくい質問もありました。一番印象に残った質問は、「高校生のときにしておきたかったことは?」というもの。うーん…。今から振り返ってみると、時間があるときに英語がしゃべれるようになっておきたかったし、たくさんの国、特に東南アジアの国々を見ておきたかったです。これからの未来を担い現代社会に生きる学生たち。無限の可能性をもっていることを大切にしてもらいたいです。